

平成30年度

28th

伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

入選作品

- 主催 伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト実行委員会
(栗原市、登米市、(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)
- 後援 宮城県、(一社)栗原市観光物産協会、(一社)登米市観光物産協会、
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会、
河北新報社、読売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、
毎日新聞仙台支局
- 協賛 富士フィルムイメージングシステムズ(株)、宮城県写真商業組合

入 選 者

各 賞	題	氏 名	住 所
最優秀賞 (宮城県知事賞)	朝焼に舞う	佐々木 勝 行	栗原市栗駒
優秀賞 (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団理事長賞)	水の楽園	佐々木 甚 彦	宮城郡利府町
金 賞 (栗原市長賞)	生命の継承	三 塚 東	栗原市鶯沢
金 賞 (登米市長賞)	愛の煌き	鈴 木 岳 美	栗原市築館
銀 賞 (栗原市観光物産協会会長賞)	雪の前沼	佐 藤 寿 好	登米市東和町
銀 賞 (登米市観光物産協会会長賞)	夕映えのエリア	阿 部 則 行	岩手県一関市
銀 賞 (宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会会長賞)	朝焼けと雁	佐 藤 林一郎	栗原市築館
銅 賞 (河北新報社賞)	朝の戯れⅡ	渡 辺 孝 男	仙台市泉区
銅 賞 (読売新聞東北総局長賞)	満月を背に	鈴 木 晁 明	大崎市三本木
銅 賞 (朝日新聞仙台総局長賞)	躍 動	佐 藤 浩 章	福島県南相馬市
銅 賞 (毎日新聞仙台支局長賞)	輝く朝の飛翔	高 田 毅	福島県南相馬市
入 選	楽園の群翔	伊 藤 孝 喜	登米市中田町
入 選	にらめっこ	豊 嶋 賢 洋	大崎市古川
入 選	湖畔の少女	佐 藤 善 治	石巻市桃生町
入 選	唄うオオヨシキリ	佐 藤 宣 雄	仙台市泉区
入 選	太陽の影絵	鈴 木 菜 月	東京都新宿区
入 選	紅満月昇る	刈 部 博	仙台市青葉区
入 選	かたすみの主役	鈴 木 宏 子	加美郡加美町
入 選	朝焼けに包まれて	佐 藤 直 樹	登米市迫町
入 選	トットいっぱい	佐 藤 洋 子	栗原市鶯沢

総 評

今年のコンテストは、応募作品の撮影期間に制限を無くし、過去に撮影されたものも含めて募集となりました。少し意外だったのが入選以上の20点の内15点が昨年1年のうちに撮影されたものでした。まだまだ過去の眠った傑作があるのではないのでしょうか。

審査していて気になったのは、獅子ヶ鼻の堤防からの朝日バックの大群の飛翔の写真は、特に昨年のがめっきり少なくなっていることです。サンクチュアリセンターのスタッフの方の話では堤防近くに集まるマガンの数が減少しているそうです。暗いうちに堤防の上を走行する車のライトが原因かもしれないと懸念されています。マガンを見に行くわれわれがマガンのストレスになっているのであれば要対処ですね。

私を含め撮影する方々はマガンや水鳥たちの保護を念頭に愛情を持って観察していただければこれからも共存していけると思います。

フォトコンテスト審査員 井村 淳 (いむら じゅん)



1971年生まれ。横浜市在住。
日本写真芸術専門学校卒業。
竹内敏信氏の助手を経てフリーになる。
サバンナの動物を中心に世界の野生動物や日本の自然など「野生」を求めて活動。
(社)日本写真家協会会員。チーター保護基金ジャパン名誉会員。キヤノンEOS学園講師など。
著書『大地の鼓動』『あざらしたまご』他。

ホームページ
(J's WORLD Nature Photographer Jun Imura's website)



【評】朝焼けの空を背景に一斉のマガンの群れが向かってくる壮観な場面です。伊豆沼の代表する光景かもしれませんが、なかなか条件が揃っての撮影は難しいところですが、構図は前景にススキやヨシを形よくシルエットで入れたのが良いです。朝日と合わせてドラマチックにねらいたいところですが、必ずしも太陽がある必要はないのだと教えてくれる作品と言えます。「静かな中に力強さがある」そんなパワーを持っている作品だと思います。

金賞（栗原市長賞）
「生命の継承」

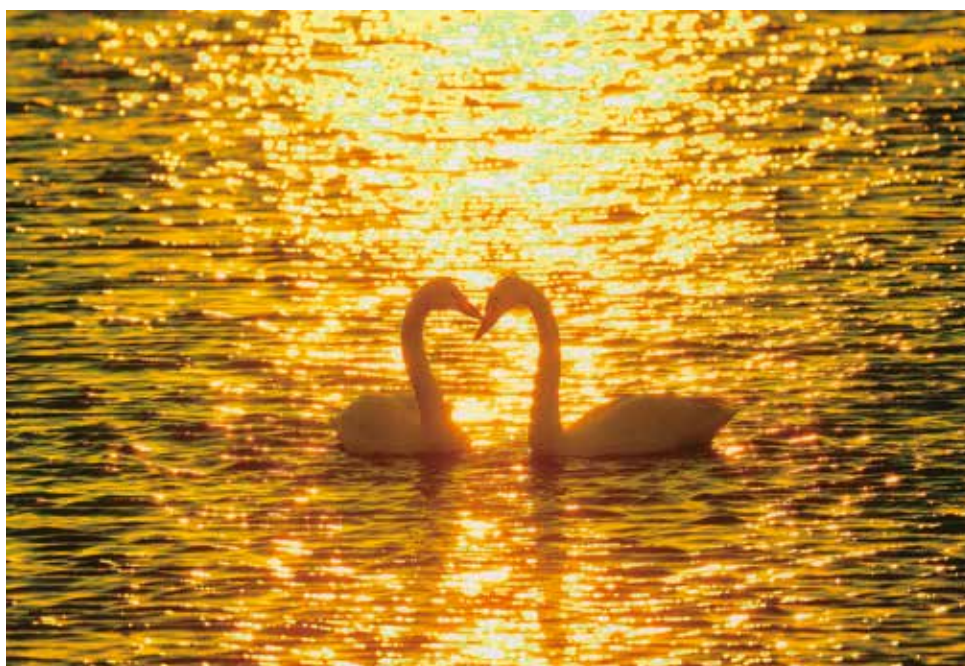
三塚 東

【評】トンボがヤゴから成虫へ変態した直後の場面を見事にとらえています。ハスの蕾という形の美しいところでの羽化は珍しいですね。そして、背景もとてもシンプルでまるで撮影の為に用意された絶好のステージです。被写界深度がとても浅いなかでトンボの目とヤゴの抜け殻をクッキリと見せたピント合わせも絶妙です。とても完成度の高い作品です。





【評】雪の残りなどでシャーベット状になった浅瀬に、夕方の光が反射してキラキラきれいです。手前のハクチョウの上空をカモが群れで飛んで行くシャッターチャンスの中で、丁度、1羽が太陽に重なった超絶好の瞬間をとらえています。さらに、そのカモの形も翼を広げた格好良い形です。露出を暗めに設定したことで氷の質感も見せられ、カモのシルエットも浮かび上がったと思います。



【評】2羽のハクチョウが向かい合ってできるハート型の直前ですね。水面にできる太陽の反射の中という条件でこのような場面は本当に希少な瞬間です。光があることで2羽の愛をより感じます。強い光の中でピントを確実に合わせられているのがお見事です。また、他に邪魔な鳥もなく2羽だけの空間として切り取られたのも高評価です。



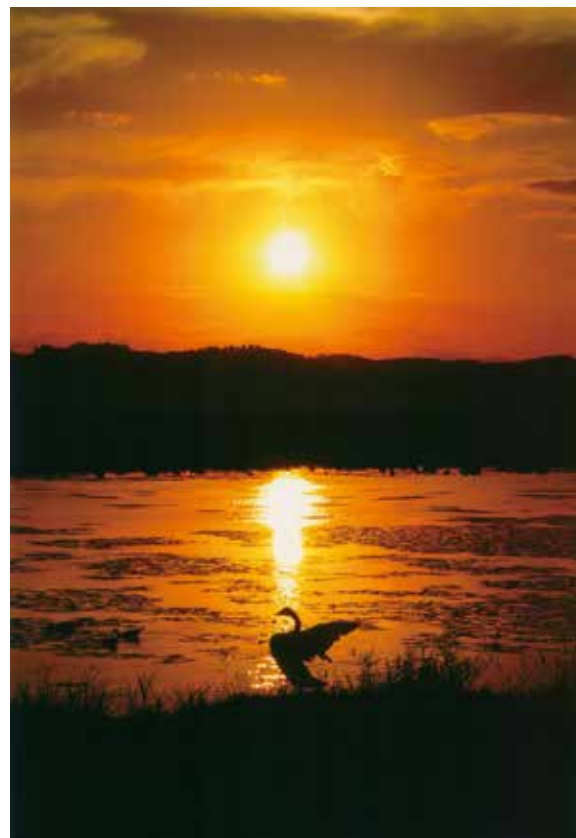
銀賞

(栗原市観光物産協会会長賞)

「雪の前沼」

佐藤 寿好

【評】 ハクチョウやカモ類の群れをモノトーンの寒い雰囲気としてうまくとらえています。高速シャッターで雪をぶらさず写すことで、しんと降る雪を見せているのも良いです。上に空けた空間もバランスが取れた良い構図です。少し気になるのは画面の左が下がって見えるので傾き調整をすると良いです。



銀賞

(登米市観光物産協会会長賞)

「夕映えのエリア」

阿部 則行

【評】 朝日と映り込みをバックにハクチョウが翼を広げたシルエットがとても美しいです。周囲に邪魔な物もなく小さいながらもハクチョウの存在感がしっかりと感じられます。濃いめの露出設定も的確です。構図は太陽の上の空間が広いので半分カットするか、空は見せずに下半分だけでも良いでしょう。

銀賞

(宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会会長賞)

「朝焼けと雁」

佐藤林一郎

【評】 日の出の太陽の動きは意外と速く、その瞬間にちょうど良い群れが飛んで来てくれるとは限らないですが、太陽の配置を画面の端に寄せ、一列のマガンの飛行をバランスよい構図で切り取られています。また、空は程よい色を見せながら、太陽の輪郭もクッキリと見せられた良い露出設定だと思います。



銅賞（河北新報社賞）
「朝の戯れⅡ」

渡辺 孝男



【評】 サギのコロニーの朝の光景を素晴らしい光でとらえています。沢山のシラサギが羽繕いをしたり羽を広げたり、身支度などそれぞれの動きをしておもしろいです。中央やや右の飛んできた1羽が良いポイントになっています。うっすらと上がる霧が朝の雰囲気を更に見せています。

銅賞（読売新聞東北総局長賞）
「満月を背に」

鈴木 晁明



【評】 水面に映る光の中にハクチョウたちのシルエットが浮かびあがったきれいな場面です。映り込んだ光の明るさも適正ですが周辺までも見せられるのは、太陽が少しだけ姿を見せているこのタイミングだけだったと思います。この日は満月でないですが太陽を満月に見たのでしょうか。

銅賞（朝日新聞仙台総局長賞）
「躍動」

佐藤 浩章



【評】 幻想的な朝霧の中、一斉に飛び立つマガンの躍動感をとらえています。飛び方がばらけているので何かに驚いて飛び立ったのかもしれませんが、その瞬間を逃さずにとらえたのが良かったです。背景は暗いところを選び、色の付いた逆光という光線状態も良いタイミングでした。

銅賞（毎日新聞仙台支局長賞）
「輝く朝の飛翔」

高田 毅



【評】 朝霧に逆光の朝日が差し込んだ幻想的な空間に4羽のハクチョウが飛んでいく美しい光景です。ハクチョウの羽も光を透かし、とてもきれいです。背景の霞んだ木立の入れ方も良いです。惜しいのが後ろの3羽がもう少しばらけていたらさらに上位に入賞だったかもしれません。

入選「楽園の群翔」

伊藤 孝喜



【評】 作品を見た瞬間に画面から迫り来る大群に圧倒されました。これだけの空間で隙間なく飛ぶ場面も珍しいですね。被写界深度が深めでまた、シャッター速度も速く、一羽一羽がくっきりと見せられたのもこの大群を強調するのに効果的でした。

入選「にらめっこ」

豊嶋 賢洋



【評】 水面の映り込みと実像が上下で対称になる様な構図がおもしろいです。そして、まるでにらめっこしているように思わせるタイトルの付け方も絶妙です。シギのくちばしが水面に着く瞬間をとらえた絶好のシャッターチャンスだと思います。

入選 「湖畔の少女」

佐藤 善治



【評】 夕方の光が水面で輝いているところを背景に駆け抜ける少女をとらえた躍動感ある作品です。水面の煌めきのきれいさと人物をシルエットに見せる露出の設定がとても的確です。前傾姿勢で走る少女の視線の先には何があるのでしょうか。

入選 「唄うオオヨシキリ」

佐藤 宣雄



【評】 大きな口を空けてまさに唄っている様に見えます。ヨシの穂でバランスを取りながらとまっている姿をシャープなピントでとらえ格好良いです。また、背景を大きくボカした濃い緑に重ね合わせ、オオヨシキリが浮かび上がって見えます。

入選 「かたすみの主役」

鈴木 宏子



【評】 ヨシが茂る沼のかたすみにぼつんとたたずむシラサギを朝の美しい光が差し込んで来たところを見事にとらえています。シラサギの背景は暗く主役がきれいに浮かび上がっています。もう少し露出を暗めに抑えるとより良かったと思います。

入選 「トットいっぱい」

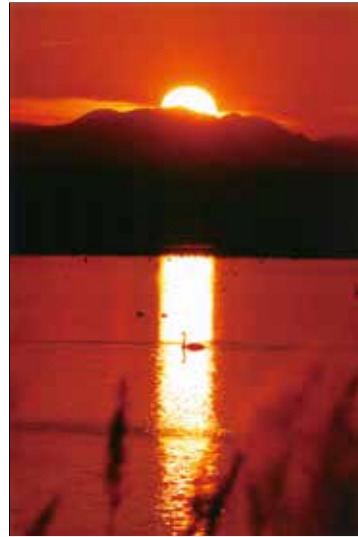
佐藤 洋子



【評】 沢山の鳥たちに囲まれて嬉しそうな少女の表情がとても素敵です。純粋な自然な笑顔で写真を見ている人も笑顔にさせてくれます。洋服がピンク色なのが画面を明るく暖かさを見せています。惜しいのは、少女の頭が切れてしまったことです。

入選 「太陽の影絵」

鈴木 菜月



【評】 山の稜線に沈みかけた太陽とその光の線をバランス良く切り取られています。シンプルに1羽のハクチョウが光の線の中に来た瞬間をシルエットにとらえたのが良いです。露出ですが光の線が飛び気味なので気持ち暗めにするとなお良かったです。

入選 「紅満月昇る」

刈部 博



【評】 昇りたての赤い満月とその映り込む水面の光をやや暗めにする事で妖し気な雰囲気になったのが良いです。水面にシルエットでマガンを入れ込んだのがうまいです。構図ですが月の上の空間を少し減らし、その分水面の光を入れると良いです。

入選 「朝焼けに包まれて」

佐藤 直樹



【評】 水面に朝日が輝く中を2羽のハクチョウが飛んでくるところをシルエットでとらえた美しい場面です。2羽のハクチョウの羽の形も良い瞬間でシャッターチャンスが良く、ピントもしっかりと主役をシャープに描写されているのが良いです。